



今夏の電力需給の概要について

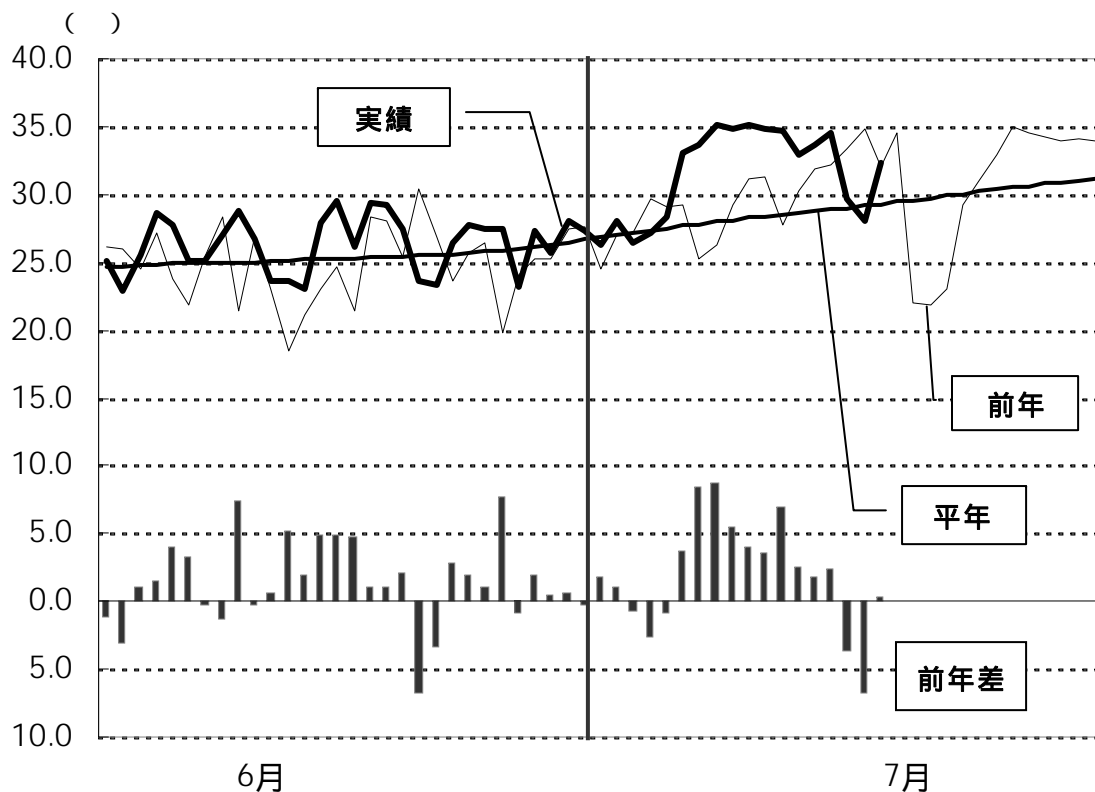
2013年7月19日
東京電力株式会社



2013年7月の気象状況 (7月1日～18日)

- 2013年の関東甲信地方の梅雨明けは7月6日(土)となり、平年より15日、前年より19日早かった。
- これにより7月上旬の最高気温は平年・前年を上回る推移となっている。

【最高気温の推移】



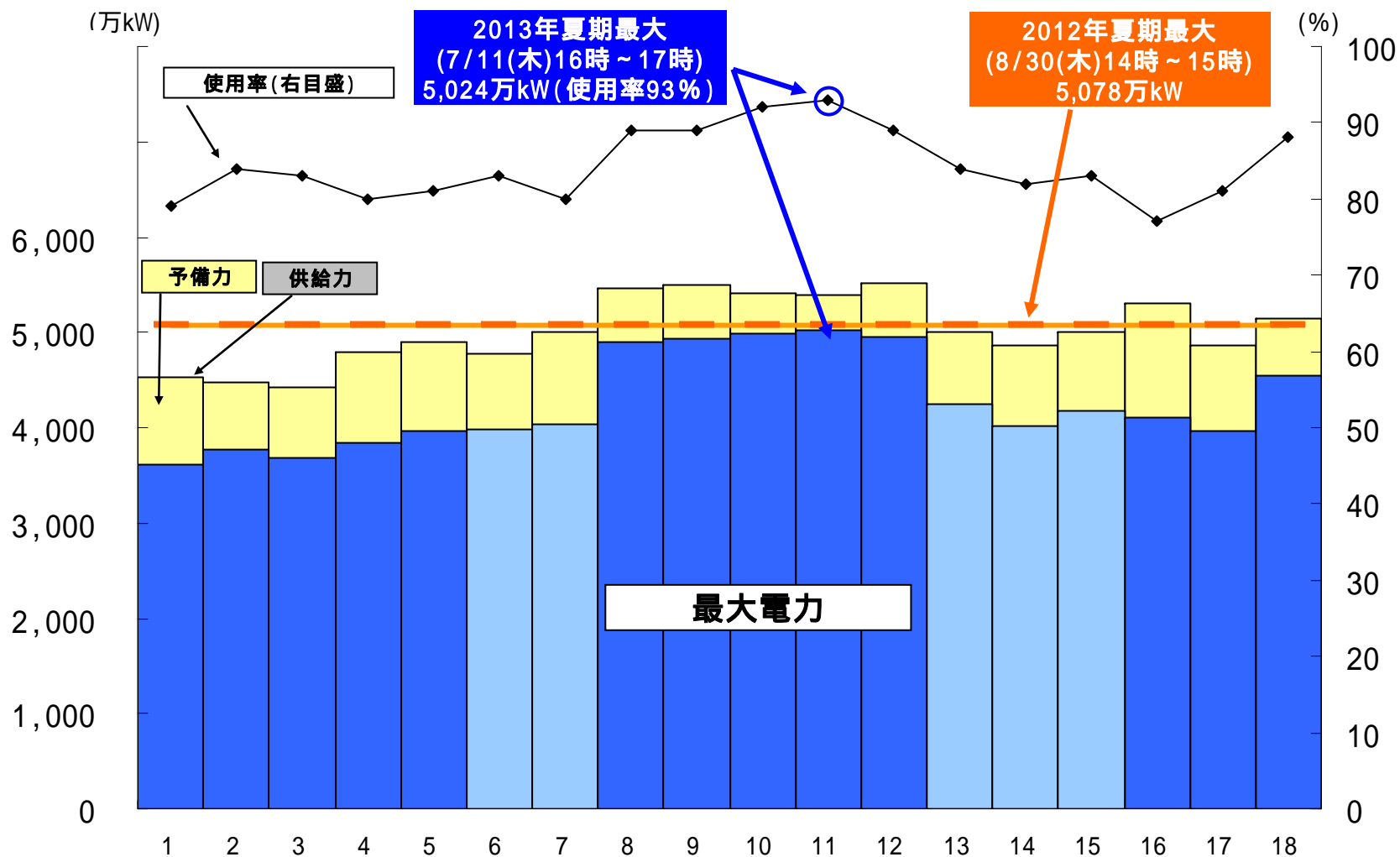
	6月				7月	
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	11-18日
今年	26.3	26.4	26.4	26.4	30.8	32.6
平年	25.1	25.4	25.7	25.4	27.6	28.9
前年	25.1	24.4	25.2	24.9	27.9	31.7
平年差	1.2	1.0	0.7	1.0	3.2	3.7
前年差	1.2	2.0	1.2	1.5	2.9	0.9

当社営業エリア内の加重平均値



2013年7月の需給状況 (7月1日～18日)

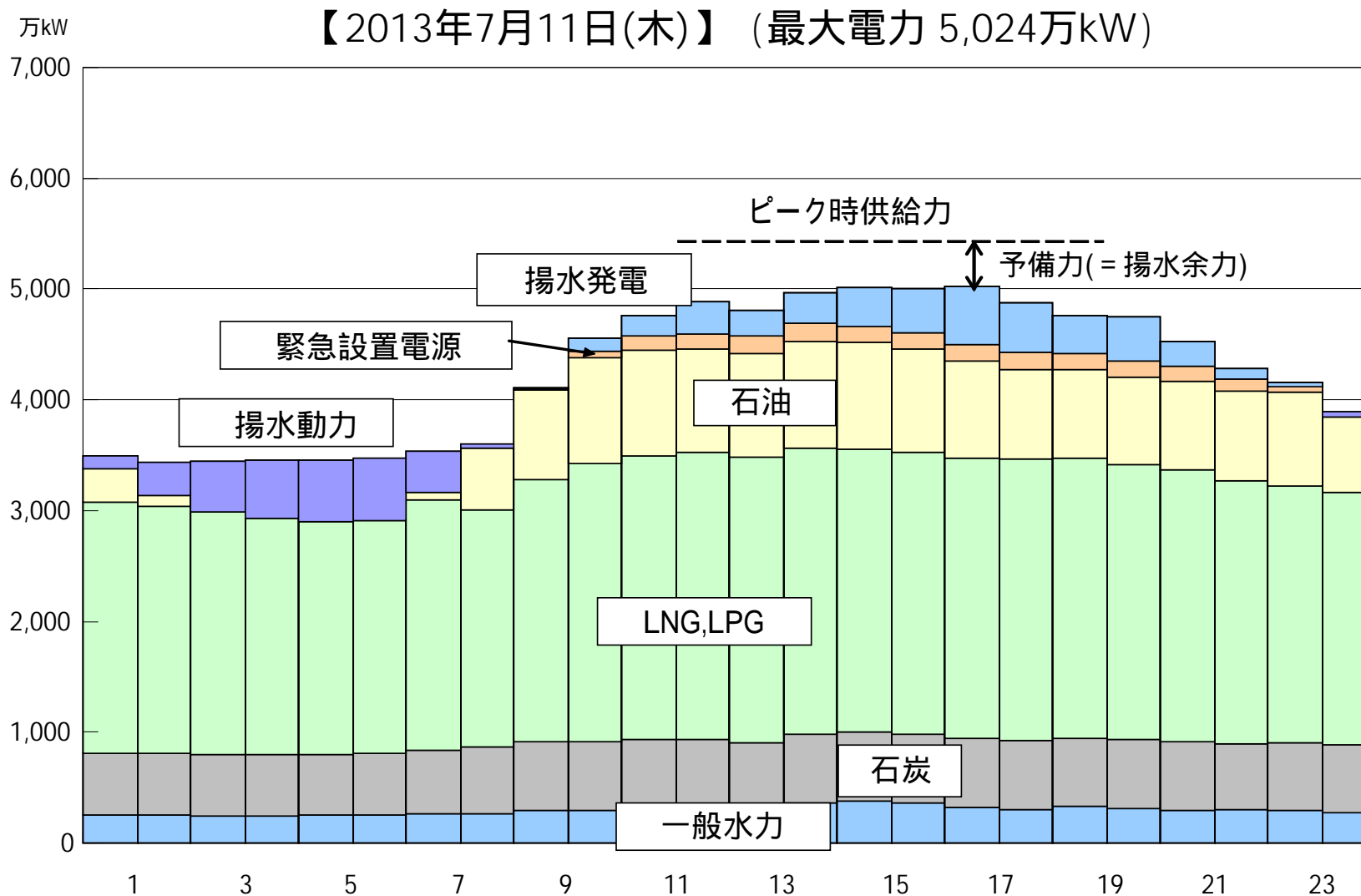
- これまでの最大電力は、7月11日(木)に記録した5,024万kW(供給力:5,392万kW)、使用率は93%を記録。





7月11日の電源運用

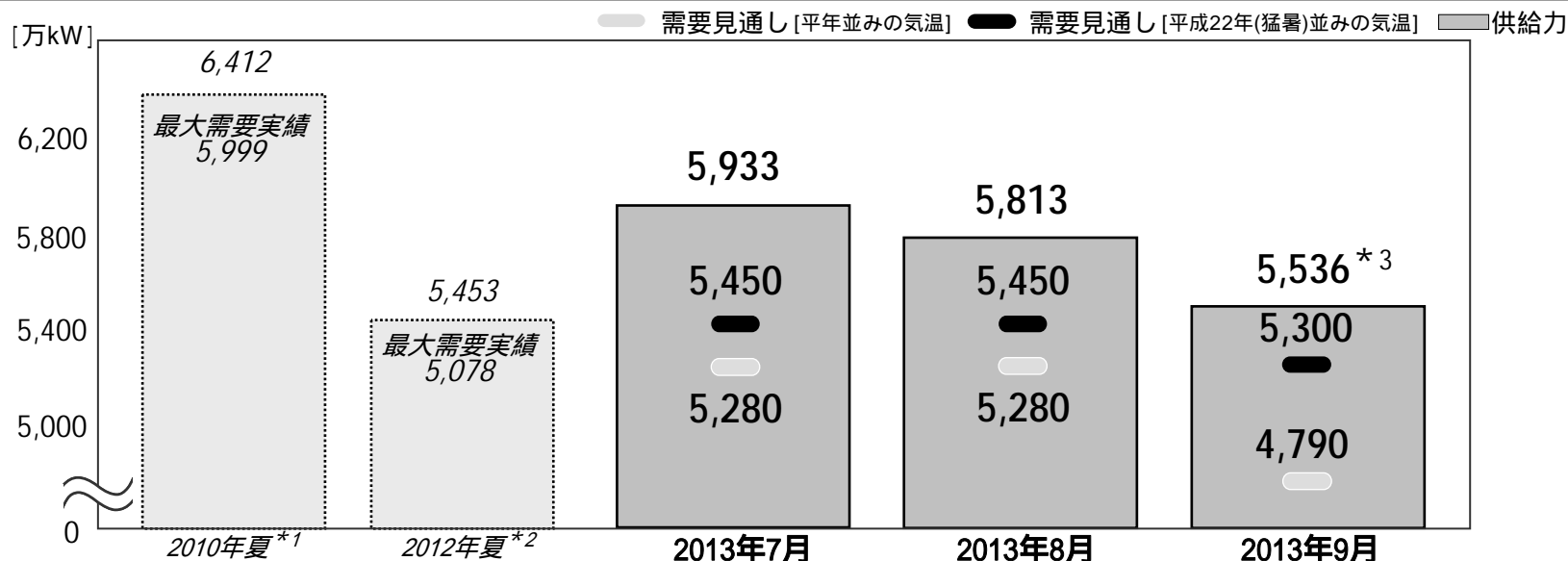
◆ 原子力の停止により、「火力発電の高稼働」「揚水発電および緊急設置電源の稼働」により安定供給を確保。





<参考> 今夏の需給見通し

- 2013年7月、8月の電力需要は、平年並みの気温の場合で5,280万kW、2010年度並みの猛暑となった場合では、5,450万kWと見通している。
- これに対して供給力は、7月で5,933万kW、8月で5,813万kWとなり、8月の予備率は、平年並みの気温の場合で10.1%、猛暑の場合で6.7%となり、安定供給を確保できる見通し。



*1 2010年7月23日(最大需要発生日)の実績。

*2 2012年8月30日(最大需要発生日)の実績。

*3 平年並み気温の場合の需要見通しに対する供給力。

	2013年7月		2013年8月		2013年9月	
	平年並み	猛暑*1	平年並み	猛暑*1	平年並み	猛暑*1
供給力(万kW)	5,933	5,933	5,813	5,813	5,536	5,556*2
需要(万kW)	5,280	5,450	5,280	5,450	4,790	5,300
予備力(万kW)	653	483	533	363	746	256
予備率(%)	12.4	8.9	10.1	6.7	15.6	4.8

*1 猛暑は、2010年並みの気温の場合です。

*2 2010年の猛暑並みの場合は、揚水式水力の供給力が20万kW増加します。

上記は、国の電力需給検証小委員会の前提である、原子力の再起動がないとした場合の需給見通しです。



< 参考 > 供給力の内訳

- 今夏は、広野火力発電所6号機(出力:60万kW、燃料:石炭)や常陸那珂火力発電所2号機(出力:100万kW、燃料:石炭)など新規電源開発の着実な推進等に努めた結果、2012年8月を上回る供給力を確保できる見通し。

(万kW)

		2010年 夏実績*1	2012年 夏実績*2	2013年 7月	2013年 8月	2013年 9月
供給力		6,412	5,453	5,933	5,813	5,536*3
内訳	原子力	1,070	0	0	0	0
	火力	4,150	4,407	4,634	4,529	4,361
	緊急設置電源	0	192	182	158	110
	自家発電買取	48	128	57	57	57
	一般水力	335	203	313	298	271
	揚水式水力	832	844	900	900	830*3
	地熱・太陽光	0	25	19	20	7
	融通	0	0	0	0	0
	新電力への供給等	25	26	67	67	66

*1 2010年7月23日(最大需要発生日)の実績。 *2 2012年8月30日(最大需要発生日)の実績。

*3 2010年の猛暑並みの場合、20万kW供給力が増加。

四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。